



平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月30日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2198 URL <http://www.ikk-grp.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 和斗志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 登田 朗 (TEL) 050-3539-1122
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	6,400	12.9	841	68.5	789	67.7	339	137.9
23年10月期第2四半期	5,669	△5.3	499	△43.3	470	△44.1	142	△70.5

(注) 包括利益 24年10月期第2四半期 339百万円(137.9%) 23年10月期第2四半期 142百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	47.61	47.37
23年10月期第2四半期	19.29	19.22

(注) 当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記では、当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第2四半期	12,049	5,217	43.3
23年10月期	12,159	5,143	42.3

(参考) 自己資本 24年10月期第2四半期 5,217百万円 23年10月期 5,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	23.50	23.50
24年10月期	—	0.00	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成23年10月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,230	8.9	1,870	40.4	1,800	41.6	890	314.7	125.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年10月期2Q	7,399,000株	23年10月期	7,399,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

24年10月期2Q	380,304株	23年10月期	256株
-----------	----------	---------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期2Q	7,130,298株	23年10月期2Q	7,398,847株
-----------	------------	-----------	------------

(注) 当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。なお、自己株式については、当四半期連結会計期間末に従業員持株信託口が所有する379,900株を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務危機や原油価格の高騰、長引く円高等により依然として厳しい状況で推移いたしました。

ウェディング業界におきましては、平成23年の婚姻件数は67万組と推計され（厚生労働省「平成23年人口動態統計」）、ゲストハウス・ウェディングの需要は底堅く推移しておりますが、専門式場やホテルのリニューアル、価格競争の激化、顧客ニーズの多様化等により、業界内の競合は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「お客さまの感動のために！」という経営理念に基づき、感動のウェディングを実現するため、接客力・企画提案力の向上や既存店のクオリティの維持・強化に積極的に取り組み、多様化するお客様のニーズに的確に対応する体制の構築に努めてまいりました。東日本大震災の影響により業績の回復が懸念されていた「ララシャンスいわき」（いわき支店）の業績が想定以上に好転した他、前連結会計年度にオープンした「キュージュー フランセーズ ラ・シャンス」（富山支店レストラン）及び「ララシャンスベルアミー」（盛岡支店）が業績の向上に貢献しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,400百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益は841百万円（同68.5%増）、経常利益は789百万円（同67.7%増）、四半期純利益は339百万円（同137.9%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

前連結会計年度にオープンした上記2店舗の稼動に加え、「ララシャンスいわき」（いわき支店）の業績が想定以上に好転した他、開業関連費用が減少したこと等により、売上高は6,247百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業利益は833百万円（同71.7%増）となりました。

② 葬儀事業

売上高は153百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益は8百万円（同41.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ110百万円減少し12,049百万円となりました。これは主に、現金及び預金が72百万円、売掛金が120百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が236百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少し6,831百万円となりました。これは主に、未払法人税等が226百万円増加した一方で、買掛金が108百万円、長期借入金が378百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ73百万円増加し5,217百万円となりました。これは、四半期純利益339百万円の計上による増加と剰余金の配当86百万円による減少の他、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入による信託契約に基づき自己株式の取得及び処分を行い、自己株式が181百万円増加したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し43.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年12月12日付公表の予想数値から変更しております。詳細につきましては、平成24年5月23日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当第2四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609,153	1,681,705
売掛金	244,460	365,249
商品	81,088	97,681
原材料及び貯蔵品	69,567	69,099
その他	224,996	200,967
貸倒引当金	△5,627	△6,895
流動資産合計	2,223,639	2,407,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,956,417	6,677,397
土地	1,643,983	1,643,983
その他(純額)	317,443	360,112
有形固定資産合計	8,917,844	8,681,493
無形固定資産	107,259	99,824
投資その他の資産	910,571	860,061
固定資産合計	9,935,676	9,641,379
資産合計	12,159,315	12,049,187
負債の部		
流動負債		
買掛金	638,164	529,778
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	1,160,570	1,131,341
未払法人税等	188,077	414,238
賞与引当金	161,491	167,287
その他	851,095	930,293
流動負債合計	3,069,398	3,242,938
固定負債		
社債	80,000	45,000
長期借入金	3,071,143	2,721,934
退職給付引当金	69,409	73,882
役員退職慰労引当金	210,660	222,863
ポイント引当金	45,891	48,868
資産除去債務	270,792	273,454
その他	198,308	202,933
固定負債合計	3,946,204	3,588,935
負債合計	7,015,603	6,831,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,568	336,568
資本剰余金	340,224	342,346
利益剰余金	4,467,036	4,719,581
自己株式	△115	△181,183
株主資本合計	5,143,712	5,217,313
純資産合計	5,143,712	5,217,313
負債純資産合計	12,159,315	12,049,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	5,669,797	6,400,494
売上原価	2,572,294	2,866,824
売上総利益	3,097,502	3,533,670
販売費及び一般管理費	2,598,002	2,691,860
営業利益	499,500	841,809
営業外収益		
受取利息	353	199
受取手数料	2,061	1,974
負ののれん償却額	858	—
その他	2,338	2,176
営業外収益合計	5,612	4,350
営業外費用		
支払利息	30,804	23,871
株式公開費用	—	22,187
その他	3,468	10,328
営業外費用合計	34,272	56,387
経常利益	470,839	789,771
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,037	—
特別利益合計	1,037	—
特別損失		
固定資産除却損	4,624	5,218
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51,978	—
災害による損失	128,865	—
特別損失合計	185,468	5,218
税金等調整前四半期純利益	286,407	784,553
法人税、住民税及び事業税	190,540	404,085
法人税等調整額	△46,837	40,986
法人税等合計	143,703	445,072
少数株主損益調整前四半期純利益	142,704	339,480
四半期純利益	142,704	339,480

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142,704	339,480
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	142,704	339,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,704	339,480
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	286,407	784,553
減価償却費	393,630	397,012
負ののれん償却額	△858	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51,978	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,037	△469
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,823	5,796
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	72,290	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,876	4,472
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,649	12,203
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,882	2,977
固定資産除却損	4,624	5,218
受取利息	△353	△199
支払利息	30,804	23,871
シンジケートローン手数料	499	499
売上債権の増減額 (△は増加)	54,185	△116,668
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△40,545	△16,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	△130,739	△108,385
その他	△186,697	118,715
小計	557,419	1,113,473
利息の受取額	353	199
利息の支払額	△31,240	△23,146
法人税等の還付額	10,499	832
法人税等の支払額	△655,989	△180,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	△118,958	910,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△618,643	△148,912
無形固定資産の取得による支出	△4,219	△1,338
その他	△19,481	△8,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642,343	△159,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	194,000
長期借入金の返済による支出	△619,950	△572,438
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
自己株式の売却による収入	—	12,651
自己株式の取得による支出	△48	△191,596
配当金の支払額	△86,358	△86,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△741,356	△678,921
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,502,658	72,551
現金及び現金同等物の期首残高	3,554,162	1,609,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,051,504	1,681,705

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年4月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年4月30日)

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業及び葬儀事業であります。葬儀事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入による信託契約に基づき自己株式の取得及び売却を行っており、取得による増加が191,530千円、売却による減少が10,529千円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が181,067千円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は181,183千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。